

バス・ト・ス週報

第1078号
昭和四十六年
一月四日行
Director
Koiti Mori
Redator
Shion Oda
Rua Pres.
Vargas 188
C. Post. 112
Fone 40
BASTOS
C. P.
Anual
Cr. 20.00
Adian.

新年会風景

乱雲 2



一九七一年元旦

バストス中央区では慣例に従つて毎年新婚を祝賀する新年会を一月一日午前九時から総会会館で開催した。暑い正月だが天気は上々、百四五十人の会員が参集した。中央区では、三百家族以上の居住人があり、一戸一人の出席があれば、もつと賑う筈だが、まだ適当な出席率であろうか。毎年必ず顔を見せる古老人若白髪、若い人の姿は殆ど見えない。

板垣司会の発句で開会。
— 小茂田会長 —

皆さんお目出度うござります。本年は七十一年とよい年で、七十という字はよい数と聞いて居りますが、ねがわくば、七十年代に於て世界人類平和の訪れることを切望するものであります。

昨年谷口文協会長さんがこの席で旧一年総会館が大変見苦しいから、どうかせぬかとの御言葉がありまして、早速手配をすることになりました。松原市長さんは本年早く同所に新らし演舞場を作ることとなり、今年の入植祭までには立派な建物が出来ることと信じます。

又サンターカーザの名称のもとに、病院隣接地に建築がはじまり、これも七月頃完成するという話であります。

第二小学校の新校舎も、六月頃には出来上ろうと、市長さんが申されて居りました。松原市長は張り切つて市街地の整備を試みておられますので、大変立派になつて参りました。本年ナタールにはイグレーシャ前広場に於て盆踊りをして新趣向を試みたことなど大変よい思い付きでありました。

又町に電飾を施して歳末気分を漂わせて、これも大変よい思い付きであります。アスファルトと次第に拡がり、ルアの整備もすすみまして非常に改善されたりました。又市街地に人々の増加しました。そして中央区の役員改選期に当りますので、私のような何も出来ない者に役をおしつけるようなことをしないで、どうぞ参りまし。

有能な方々が沢山居りますから、そういう人を送んで、中央区の益々発展するよう願う次第であります。皆さん前のメ

WAKAMOTO

かわく

のみすぎと二日酔いに
胃腸の強化に 衰弱の恢復に
ガソリンの予防に わかもとを
どうぞ！



わか美容化学研究所

— 谷口文協会長 —
どうぞお年の数程召し上がって、ごゆつ
わかクリーム、
お肌の栄養と
若返りに
ワカ香水は最もよろばれます
乳幼児の入浴にワカヒツケン
存じます。これを以て私の挨拶といたしま

す。上衣を取つて、何しろ暑いのでおゆつくりと新年をことはいひたださないといふ年は、十大事件が出ていますが、バストスの十大事件というのを考えてみました。これいい方の十大事件がないんです。これでは具合がわるい。ヒ一年のバストスに下さる、年末の新聞を見ますと、どちらの十大事件が出ていますが、バストスの十大事件といふのを考えてみました。これでもういたいのです。

さきほど小茂田さんの云われたように、歌舞場のすばらしいのが出来る、サンタクーラーザのいいのが出来る、というようなのは、文化バストスとして知られているバストスにとつては、大変結構なことちかいかない。それでバストスに不足しているのは何だろうか、ここにお乗りの顔ぶれを見ると、壯年から老人に到る

道の多くの人が居られる——私はまだ老人ではないが、年輩の方が多い。自分の手ですが朝起きると足や腰がいたい。これは運動不足だ、朝体操をやつています。これはあまり面白くないから、つい急りがちになる、やめたりしてしまう。皆さんご承知のようにパウリスタ新聞にバスのゴルフの事が出たでしよう。あれは少しバスのゴルフ人口ふえてから出すべきだつたと僕は云うんですよ。少しバスのゴルフはたしかに通常すきました。このゴルフはたしかに通常運動ですよ。崎田君など出づ腹を少しひこめるためにやっています。老人になるとどうしても運動不足になるから、進んでゴルフなどやるようにならう。進んでゴルフなどやるようになりますな。これを一つセーラーの宿題としたい。

それともう一つ、ここには上西さんも居られるが、昔は陸上バス、野球バスと名がひびいていたが、今ごろ少し低調ではないかと思う。山の人でも町人でも少し閑心かうすくなつているのではないか、たとえば、水野ショジさんが口でタリーカラブ主催で運動会をやつて下さる。これはもう大変結構な事ですが、私は招待を受けても、つい出不精で出席しないんですけど、これは僕はおわびします。今朝八時からアソンで一ぱい枕盗をあげたので口が渇べりよくなつていています。アルコール分のなし時は呑合に潜べるので、つい皆さんに腹を割ります。これももう大変結構な事ですが、今年七十一歳のお詫しするわけですが、今年七十一年に皆さんかよろこぶようなものを作るように、皆さんかよろこぶようなものを作るように努力していただきたいと思う次第です。

| 崎田 春一 氏 |

何か年頭に賜れとの事ですが、日本のお譯に笑う門には福来る、というのがあります。暮れもせまつた二十四日の晩、ショットパンツでセルベーチャ・ウイスキー、その他あらゆる酒をのみ、だいぶ廻つて参りました。最近はシンをのむと悪酔するがセレッソンを見ると、マルチーのセッコがよいという記事を見たので誰かにいただいたマルチーのセッコがある筈だと、戸棚の隅を探していると見つかった。私は、酒の方では相当名の知られていましたが、今朝は一つお笑いを申上げてみました。暮れもせまつた二十四日の晩、私は週報社の大先輩糸音先生から「酒豪」の名をいただいて居ります。——ようやけで、とうとセッコを探しあて、来るものはいつの間にか見つかりました。——この味もしない、ちようど乗合せた長男も一日のんでもみく：何の味もないという。

新規営業

おありでどう

ござります

本年もお変わります
往日の布引五を以て
あげます

HOTEL USSAMI

うさみ食堂

電話二十二



ホテル ロードアリオ前

すると、酒などなめたこともない家内が来て、あんたら何をさわざよ。僕らのコップをなめてみて、これは先日女中には浴かせた〇〇〇ですよ。さあ大変だ、〇〇〇をのんだ、と家内がいう。私は〇〇〇ぐらいで死にはせんよ、というと、家内と長男は、パパイ、自分の身体は自分で守らなくちや、誰もはたから注意してはくれん。早く医者に云わなくては、D.B.バウロもD.B.五郎もかけつけてはくれません。まさか死ぬようなこともないだろうが胃や肝臓でも悪くしたら、あと飲めんようには、今眼鏡郎が帰宅されたようだと教えてくれたので、電話で先生、おられ今〇〇〇のんだんだよ。先生曰く、普ていたらしい、そこで先生笑つて曰く、うすめてあつたのなら、時々は胃の洗浄して恰度いい。私の申上げたいことは、ここにお集りの方々、私よりは年輩の方も常に御自分を大切にしき頂きたいと如で、自分の年もイノシシで当年四十ハオ、頭は白いが、まだまだ何かやれること思つて居ります。そこで谷口さんが、(この項九ページへつづく)

戯曲 第二回

税所敦子 二幕目

加藤梅晨 作

第一幕より三年後、敦子住家

幕開く、舞上よりに布団を敷き、二枚折り屏風を建て、老母就寝中、その下手

に行灯をともし、敦子針仕事中、虫の声聞こゆ、真夜中の様子。敦子針仕事中も時々老母の方に心を配る様子、その中に老母ごそごそとし出し、両腕を伸ばして

目覚めし様子。

老母「敦子さんや、まだ起きておつたのかや、折角呑んだ晩酌ももう醒めこいたようじや。一ひとお小用に行つて来ようかな」

敦子「はい」と応えて手烛に灯を入れ、老母に手を添えて起し、手を引いて上手に入り、すぐ独りで帰り、老母の布団

を直して置き又引き返えして老母を迎える

とすろ。老母「晩酌の酒が醒めて小寒うなつかか、敦子」「はい、ちよつとお待ち下さい」といって上手へ入り、暫くして戻り来り

布団を片寄せ、老母に座布団を敷かせて

上み手へ入り、益に徳利と盃をのせて持つて来て老母の前へ置き、老母酒の酌をする。老母うまさうに呑み干す、又酌を皿を益の上に出てくる。

敦子「まだ夜中の事故変った物もありません。あり合わせのもので申わけあります。御辛棒を願います。」と云いな

から酌をする。老母「この間言うて置いた私の給はまだ遅い上らぬかの」

敦子「はい、最う少し、袖付け凧がちよつとだけ残つて居ります。もうじきに

出来上ります」

老母「何しても京の人は丁寧過ぎて手間がかかるて困まる。もうじきに夏になつて仕舞うじやないか」

敦子「はい、まことに申わけあります」

老母「お前さんはまだ今迄起きて居たのじやな」

敦子「はい、窓に娘達を寝かせまして目が冴えて居りますので」

老母「お前さんは時々水垢をする様じやが、何のためにするのじや。よもやこの私を祈り殺すための水垢りでもあるまいの」

敦子「とんでもない、これは私の若い

謹賀新年

本年も相変わらず御多用の程を
お頼い致ります

一九七一年元旦

最高の調味料



SUPERAGI

スープ・バー味

輸入元聖市遠

藤留易株式会社

製造元東京協和醸酵工業株式会社

謹賀新年

毎度御引立にあずかり有難う存じます

本年も昨年同様御贔屓の程懇願仕ります。

一九七一年一月元日

Electro Radio Oriente

名和家皮用ノ言と器皿一切

ガルサ市エイト口

ベンテアード街 一一一 番

八卷

児童商店会

ガルサ電話ヒヒ三番

郵函二七九番

御注文はバストス市ソツキデカシマス街角

代理店 宇佐美宗一

電話自宅一二五番
クック店舗一六四番

時からの習慣でありまして、これをしたいと、何だかからだがしつかりしないようあります。老母が水垢りをして身体をしつかりさせようと云わしやるが、そればかりではあるまい。それには何か望み事でもあるのであろう。

義子「はい、望みという程の事ではありませんが、ただ好きな和歌の道が上達しますようにと、女ながらも一つ端の学問がしたいのが願いといえば願いの様であります。誠になまいいきの様であります。本当の事を申上げねばお隠いが隠れませんかと存じまして、今はじめて、お姉様にだけ申上げるのでござります。老母がフン、話を聞けばお前さんはしおり者じや、敷子さんや、お前さんは和歌の道を辭んでじやて、又、京に名の知れた歌詠ふと聞いて居ろが、どうじやな、一つわしの前で和歌を詠んで見せてくれませんかな」

敷子「はい、私に出来ますことなれば何でも致します。どんな和歌を詠みましたらよろしゆございましょう」

老母「それはな、この近所の人達は私の事を鬼婆、鬼婆というて居るそうじやが、その鬼婆という事を和歌にして下さ

出来ますまいのう」

敷子「はい、作って見ましょ」と、ちよとの間考える様子にて、碁と短冊を取りに立ち、行灯の許に座を占めて、敷子「はい出来ました」と差し出す。老母「もう詠めたか。詠み上げてみなされし」

敷子「はい」と履冊を持って、

敷子「私にもまさる心と知らずして、じつと聞いていた老母はじりじりと次第に身がくろいを直し、真面に坐り直し、敷子に向い手をついて頭を垂れて、

老母「敷子さん、何と貴女は偉い方じや、こんなお方とは露知らず、二年前鹿児島に来られてからといふものは、ご無礼げつかり申し居りました。どうぞ免じてつかわさい。静かの間連添うた伴にしきつかりました。この、この鬼婆様な仕打ちをする婆へ

至れり尽せりの孝養の日々、何といふ様のようなお心の貴女であろうか。まことに誠に申し訣なし。どうぞかんべんして下さい。これからは心を入れかえて、孫達を大事にして、真人間になります」

この間に夜も三更を過ぎ、鶴の鳴声聞こえ来り、夜は朝けそむる様子。

敷子「お姑様、もつたいない、どうぞお手をお上げ下さい。私の様な者の眞意

死し通知並に会葬御禮

夫 田添角馬儀（六十三才）長らく病氣療養中でありましたが、去る二月十八日急に病氣悪化し薬石の効なく今日午后十一時二十分他界致しました。

依つて翌午后五時自宅出棺バストス墓地へ埋葬仕りました。此の段故人生前厚知御厚誼を賜わりました各位に謹告いたします。

又静養印、御親切なる御見を賜わりました事を重ねて御礼申上げます。尚葬儀に際しましては御多用中酷暑の中御遠路の廻態々御会葬を頂き、且つ又御香料並びに花輪など御恵供下され誠にありがとうございました。実は一夕御廻礼申上げ拜肩の上御礼申礼申述べる可き筈の廻取込中甚だ勝手ながら略儀紙上を以て販敢えず御礼申上げませ。

一九七〇年 十二月二十日

喪主 妻 田添スナ
兄弟代表 田添照夫
親戚代表 町田軍一
友人代表 伊藤兼登

が判つて下さつてありがとうございます。どうぞ今適通りに付えさせて下さい。そして皆んが仲よく娘達を立派に育てましょ。」老母「あア、何んと私は幸せなことか、件や、ありがとう」

この時三人の娘達が起き出で、顔を洗つた形で出て来り、行儀よく坐わり。老母に、そして敦子に手をついて、「娘三人「おはようございます」と朝の挨拶をする

老母「お前達はほんとうに良いお母さんを持て。偉せじや。この様に行儀を教えて頂いてほんとうに仕合せなことじや。お母んに孝行をしなされや。」娘達はいつも祖母様と様子が違うのでちよ」と迷惑の様子である。それでもおとなしく、

そのうちに夜は全く明けはなれた様子。老母「どれ、私も顔を洗つて来ましょ」と、奥へ這入れば、敦子は行灯や布団を娘と共に片付けにかかる。花道より二人の武士、何やら緊張の面立ちにてこの家を訪う。武士「ごめん下さい」

敦子「さようでござりますか、兎も角お通り下さいませ」

武士「御免下さい」と戸口を這入り上

手に席につく。この間娘たちは奥に入り、入れ遣に老母現れ、敦子と並び客に對す。敦子「さようでござりますか、兎も角お通り下さいませ」

武士「私は島津家の藩士木村平太、松野十郎と申す者であります。藩候よりの命に依り、早朝よりお使いに参つたのであるが、お駆がせ申して恐縮に存じます。」敦子「左様でありますか、して御用ひ越きお聞かせ戴けますれば幸と存じます」

木村「実は当島津藩候より急な申付けにて早朝にもかかわらず推參致しましたのは島津藩候に貞姫君と申される末だ幼きお姫様があらざられます、この度ひこのお姫様が近衛家との縁談が出来ましたとて、何びとか御養育係をおつけ申さな

さればならぬ事となりまして、その人は誰かよからうかと、協議の上、この大役には御容姿から御学識に於て貴女様が最も適当、貴女おいて他に誰もいないという事に相成りました。

松野「いろいろと御家庭の御事情もありの事とは存じます。殿様もその事を気遣われています。事は重大であります。お姫様御教育係りの儀何平御承引お願ひ申上げます。

敦子「何のお話かと思いましたら、私の様な至たうぬ者に思ひも及ばぬ大役誠にもつたいたない事であります。御覧の通り私には二人もの娘があり、又年老いたお姑様もあります事とて、折角のお恩召しながう、御拜命致しかねまする」

老母「敦子さんや私や娘達は近くに次郎太も住んで居る事、何とでもなります。折角のお殿様のお申付、御引受申上げては……」

松野「あア、御老母様や娘子様達もあらるる事は殿様も御承知にて、邸内に一構えの屋敷も備えられて居ります。

兩人「是非とも御承引下さる様お願申上げます。」

敦子「お姑様あれ程までにおっしゃるが何如いたしましょう。」

老母「ほんとうに、これをおことわりしては、お殿様に申訳けありません、お言葉に甘えましてお引受け申上げます」

木村「早速の御承引、かたじけのう存じます。藩候にも定めし御喜びの御事と存じます。」

「これなるは、藩候より下しおかれました当場の御支度の料、お受け取り下さい」

敦子「何かう何まで御心遣い、有難う存じ、頂戴致します」

兩武士「お目出度う存じます」

幕

終

御 礼 芳名追加の件

前回の週報(十二月廿二日)に中川ルイスの死亡通知並に会葬御礼広告を出しまつたところ左の方々の芳名が渡れて居りましたので追加いたします。

バンディランテ種鶏場一同様
クランジバース農産組合様
バストス養鶏組合様
バストス文化青年会員様
クロフレッシュ区
中央区
一同様

御禮

私こと去ろ十月上旬発病し、聖ホスピタル、力メ口に入院し、手術を受けましたが幸い経過よろしきため四十日後退院して帰植いたしました。

尚自宅にて静養中であります。
その間知友各位より御丁寧な御見舞を頗り誠にありがたく、厚く御礼申上げます。

一々御回礼いたし度く存じますが、取敢えず紙上を以て御礼の御挨拶申上げます。

七〇年十二月三十日

樋 浦 瀧 翁

ソシエダーテ バンディランテ

プロツットーレスの各位様

知 友 各 位 様

御 礼

金五百コントス也

生長の家会館に於て炊事
を手伝つた方一同十七名

ソシエダーテ バンディランテ
プロツットーレス 様

金五百クルゼーロス也

皆様の御芳をありがとうございました
中川遺族より

生長の家炊事場にて
お手伝いされた十七名様へ

徒四

禮

合掌、ありがとうございます御座ります

生長の家では毎年歳末助合運動を統けて参りましたが、今年も先日来各隣保班の方々に募金活動をして頂き、生長の家全員外の多くの方々よりも御協力して頂きました。

ヒヒ○クルゼー口也本、松原市長さんの団体を撮影して本日へ十二月二十二日）トッパン市の養老院とサンタ・カーラへそれぞれ寄附させて頂きました事を御報告申上げ、御協力して頂きました皆様方に心から感謝し、御礼申上げます。

合算あり難とう、乞う御す

一九七〇年十二月二十五日

生長の窓

集団自殺への道を歩む人類

宇田川「森林にアメリカシロヒトリが
入って来ないのは、鳥や何かの天敵類が
しつかりしているからだと思われますね。
日高「かなりはつきりしていますね。
アシナガバチとかクモとか、そういうもの
のがいると、おののが少しブフ食つて
いるわけです。結局全部で減つているわ
けです。といって、アメリカシロヒトリ
が全部いなくなれば鳥と蜘蛛と足長蟻
だけが残つて、という世界ができるかとい
ふのがあります。それがさつきの話しじゃないけれ
ども、それをいつも維持していく餌がな
くなりますから全部いなくなるわけです。
ですから、鳥がいなくなつた理由も、そ
うはえさがなくなるということもある
のじやないかと思われますけれども、そ
ういう意味では、やはり虫がいなくなる
ということは、結局それにつれて外のもの
のがみんなほとんどいなくなるというこ
とです。

森林についていふと、林業の立場から
いうと、松なら松で純林にした方が明ら
かに能率がいい。そして、薬をまくとき
も簡単だ。と、こう単純に考えるが、そ
れではだめなんです。

司会「ということは、地球上のあらゆ
る地域は全部トウモロコシ畑で、ある地
域は小麦畑、というやり方でわれわれ一
貫してきただけれども、そこに問題があ
ることなんですね。

—植物学者は告発する—

地球を月世界にするのは誰か

宮脇「そうです。農場の場合でも現在
の文明都市の場合でもどうですか。われ
われが文明を築き、技術を発展させると
き、生産力を上げようと思えば、ある程
度の西一化はやむを得ない。その場合、
自然にもかなり幅の広い許容能力がある
わけです。そして自然の潜在力のとうい
う総合的な許容能力を今まで経験で知
っていったわけです。ところが、いまでは
そういう経験では間に合わない。非常に
急速にそれこそ二千年分を三年位で開拓
し、画一化するわけですから。」

司会「われわれは土地を非常に荒らし
ているのは、いつてみれば地表から三十
近くらいの厚さなんです。ところが宅地
それに加えて東京みたいな大都市を建設
することと、それをみんな取つ払つち々
いか。」

鈴木「一番微生物的にバランスのとれ
ているのは、いつてみれば地表から三十
近くらいの厚さなんです。ところが宅地
造成なんて、それをみんな取つ払つち々

私儀このたび一身上の都合にて長年勤務致して居りましたブラ拓製糸株式会社を辞職いたしサンパウロへ移転することになりました。
長い間皆様に御厚誼をいただき、御報恩の機会も無文、誠に申わけありません。
移転に当たりましては御丁重なる御餞別などいただき、ありがとうございました。
皆様には益々御健康と御繁栄を初りとして御別れの辞と致します。

一九七〇年十二月二十九日

プラ拓製系垂穂部從業員、各位

森林についそいそと、林業の立地をうかがふ。松林にした方が明るいうと、松なら松で純林にした方が明らかに能率がいい。そして、薬をまくときも簡単だ。と、こう単純に考えるが、それではだめなんです。

「司会」「ということは、地球上のあらゆる地域は全部トウモロコシ畑で、ある地域は小麦畑、というやり方でわれわれ一貫してきただんだけれども、そこに問題がある」ということなんですね。

宮脇「そうです。農場の場合でも現在の文明都市の場合でもどうですか、われが文明を築き、技術を発展させると生き、生産力を上げようと思えば、ある程度の画一化はやむを得ない。その場合、自然にもかなり幅の広い許容能力があるわけです。そして自然の潜在力のそういう綜合的な許容能力を今まで経験で知っていたわけです。ところが、いまではそういう経験では間に合わない。非常に急速にそれこそ二千年分を三年位で開発し、画一化するわけですから。」

司会「われわれは土地を非常に荒らしているのじやないか。農業もそうだが、それに加えて東京みたいな大都市を建設することを、土壤を荒していろいろのじやないか。」

鈴木「一番微生物的にバランスのとれているのは、いつてみれば地表から三十

鈴木「一番微生物的にバランスのとれて いるのは、いつてみれば地表から三十五
六くらいの厚さなんです。ところが宅地
造成なんて、それをみんな取つ払つちや

宮脇「いわゆる生産者としての縁の植物、それから人間、動物から昆虫から何から!……そとと分解者としての微生物は一蓮托生の関係にあつて、植物だけが、あるいは人間だけが生き残るわけにはいかない。それなのに、一たとえば都立大の北沢さんが最近調べた例などでも、土壤中の小動物の数は、千葉県の森林では一平方㍍のところにだいたい四十万くらいといわれている。それが東京都内の自然教育園ではひとけた少くなつて三万九千くらいといわれている。それがさうに資源研の草原で四千、おそらく都会のアスファルトの下では、ほとんど何百いあるかいないかになつてゐるでしよう。」
司会「あまり飾装すると土壤が死に絶えるというからあるいは土壤が單なる鉱物だけの、月世界みたいになる!」
桧山「ぼくは十年前に、東京湾を埋立てたら東京の人間は死にますよといつた。ところが都市計画の人間ときらう、魚な

う。どうすると土表に適応する。まことに以後何十年、何百年かかるわけです。目に見えないけれども、実際に草を植えたて、ろくにはえないわけです。」司会「草を植えようと思つてもはえない」ということは、木を植えようと思つても簡単にいかない?」
宮脇「いわゆる生産者としての縁の植物、それから人間、動物から昆虫から何かう! そとと分解者としての微生物は一蓮托生の関係にあつて、植物だけが、あるいは人間だけが生き残るわけにはいかない。それなのに、一たとえば都立大の北沢さんが最近調べた例などでも、土壌中の小動物の数は、千葉県の森林では一平方㍍のところにだいたい四十万くらいといわれている。それが東京都内の自然教育園ではひとけた少くなつて三万九千くらいといわれている。それがさうに資源研の草原で四千、おそらく都会のアスファルトの下では、ほとんど何百いるかいないかになっているでしよう。

司会「あまり飾装すると土壤が死に絶えるというからあるいは土壤が單なる鉱物だけの、月世界みたいになる!」
桧山「ぼくは十年前に、東京湾を埋立てたら東京の人間は死にますよといつた。ところが都市計画の人間ときらう、魚な

② ページよりつづく

ムニシピオの問題にふれられましたか、州政府は新らしいムニシピオに金をよけい返すことになり、バストスは、史上最大といわれるICMが返つてくることにななり、これを有効につかつて文化バス

スに腐ることなく、市議員に於て相談していきたいと思う次第です。七〇年という年はブラジルにとつても後進国から脱皮して、世界の生産国と肩を並べて行く年と思う。ブラジル人のよい逃は寛容さにあり、インフレが年に20%庭もうと、少しもあわてることのない大容さにあると思います。必ずや国の経済を救う人が出現すると思われます。

第一次大戦のマルクの下落、第二次大戦後の円の下落、しかしそれらの挽回は立派にやつてのけている西ドイツ、日本ともすでに世界有数の経済大国にのし上つて居るわけであります。二年前まではブラジルのインフレは坂をとばす車の如きさまじさであつたが、ラウド・ナテル財務長官の手によりくいとめ、コスタ大統領によつて起用されたデルフィン・ネットにようつてブラジル経済は立直るに到りましたが、單にブラジルのみならず、世界の目を集めるとの人がなつてゐる。そのように夏国の志士は必ず出るものだと確信して居ります。ヒ一年はバストスの飛躍の年であります。ヒ一年はバストスの飛躍の年でありますことを念じまして年頭の挨拶といたします。

連邦議員

野村丈吾

一九七一年一月元日

ていただきたい。
くれぐれもバストスの各位によろしく
御伝え願いたい」と云々

謹賀新年

金一封也	御禮
貴下病氣全快の印として当村一同	に前掲の金員をいたしました。
厚く御礼申上げます	

西ケ迫信秀様
コチア村一同

バストス少年野球練習日

十一月二十三日バストス野球再出發のため、協議の結果、左の如く決定しましたので、おしらせいたします。来る一月十日(日)午前八時より練習を開始いたします。

バストス中央野球場にて、選手は勿論、新らしく加入したい方は、御集り下さい。

選手の父兄各位は奨励の爲め、子供さんと同道して下さい。

監督

能見幸夫

連邦議員 野村丈吾氏来植

旧暦三十一日ハストスを訪問された野村丈吾連邦議員は西・植原・松森・外マリリアからの同伴一名と共に週報社へ来られ「バストスの有権者の方々を訪問したいが到底果し切れぬので週報を通じて貰いたい」と手短かに左の談話を発表した。「去る十一月の選挙の節は御馳の各位から予想以上の御支援を頼いたことを厚く御礼申し上げます。来る二月一日連邦議会が開催されるので、一月中にはブラジリアへ行くことになります。聖州の代地出身であるから、文協その他の団体とも連絡があるので、週に一回は聖市へ帰つてくるつもりだ。これまでとちがつて連邦議員ということになると、聖州の代表であるかウブラジル国家のために最善をつくす覚悟である。コロニアの方々から誤解を受けるかも知れぬが、コロニアのためという小見地では信用を失墜すると思う。國家第一主義ではあるが、大統領にも近づいて、日系のために最善の努力を尽すつもりだ。何か請願事項があれば、カラマラを通じ、オフィシャルとして送つ

バストス少年野球世話人

